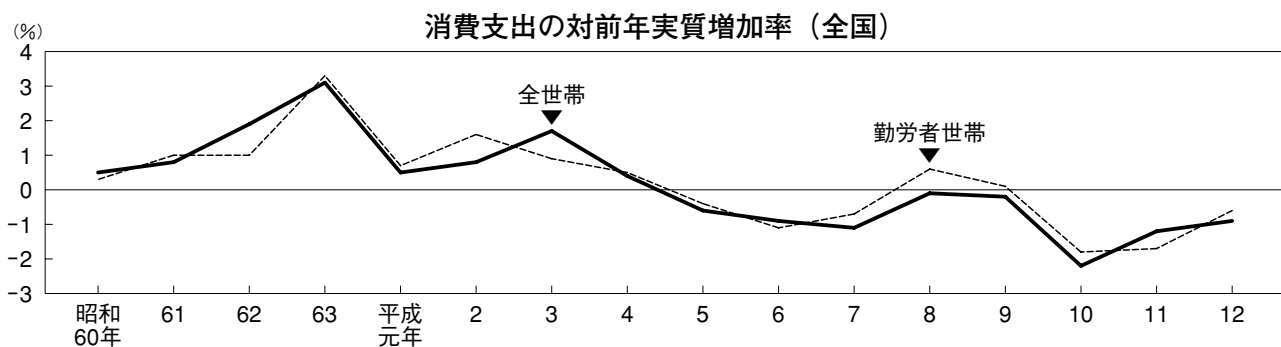


家計調査報告（平成12年平均）

1 全世帯の家計

前年比でみると、全世帯の1世帯当たりの消費支出は、平成5年に実質減少に転じ、6年から11年にかけて実質減少が続いた後、12年は実質（-）0.9%の減少となった。なお、消費支出が実質で8年連続して減少となったのは、現行の調査開始（昭和38年）以来初めてである。



2 勤労者世帯の家計

前年比でみると、勤労者世帯の実収入は、平成7年以降3年連続の実質増加となった後、10年以降3年連続の実質減少となった。

前年比でみると、消費支出は、平成5年に実質減少に転じ、6年、7年と実質減少となった後、8年、9年は実質増加となったが、10年以降3年連続の実質減少となった。

収入及び支出の内訳（平成12年—全国・勤労者世帯）

項目	金額 (円)	対前年増加率(%)		実質増加率への寄与度(%)	摘 要
		名目	実質		
実収入	560,954	-2.4	-1.5	-1.5	
世帯主の定期収入	379,700	-0.6	0.3	0.20	3年連続の実質減少
臨時収入・賞与	80,737	-6.5	-5.7	-0.84	3年ぶりの実質増加
配偶者の収入	53,645	-4.1	-3.2	-0.32	3年連続の実質減少
うち女	53,232	-4.5	-3.6	-0.36	3年連続の実質減少
他の世帯員収入	12,250	-7.3	-6.5	-0.15	
非消費支出	88,132	-2.9	—	—	3年連続の減少
可処分所得	472,823	-2.3	-1.4	—	3年連続の実質減少
消費支出	340,977	-1.5	-0.6	-0.6	3年連続の実質減少
食料	74,889	-4.1	-2.2	-0.50	〈減少〉乳卵類、穀類など 3年連続の実質減少
住居	21,674	-4.2	-3.8	-0.25	〈減少〉設備修繕・維持、家賃地代 3年連続の実質減少
光熱・水道	21,124	2.1	0.5	0.03	〈増加〉電気代、他の光熱など 3年連続の実質増加
家具・家事用品	11,208	-7.4	-4.5	-0.16	〈減少〉家庭用耐久財など
被服及び履物	17,192	-8.9	-7.9	-0.43	〈減少〉生地・糸類など 10年連続の実質減少
保健医療	10,865	-0.2	0.6	0.02	〈増加〉保健医療サービス
交通・通信	43,660	7.5	7.2	0.84	〈増加〉通信、自動車等関係費
教育	18,214	2.3	1.2	0.06	〈増加〉授業料等 3年ぶりの実質増加
教養娯楽	33,831	-4.1	-3.2	-0.33	〈減少〉教養娯楽サービスなど 5年ぶりの実質減少
その他の消費支出	88,320	-1.0	—	—	〈減少〉こつかい、交際費 3年連続の減少
平均消費性向(%)	72.1	(前年) 71.5	(ポイント差) 0.6		

(注) 「摘要」欄のゴシック体は、5%以上の増減を表す。

資料：総務省統計局